



## 1. マーケット・レート

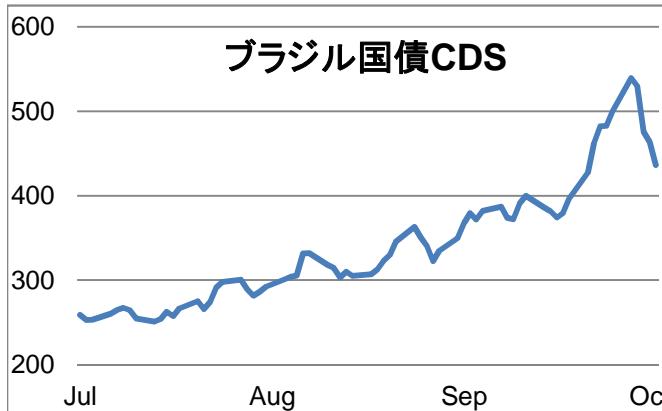
			9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.1090	4.0620	3.9470	4.0090	3.9330	-0.0760
	BRL/JPY	Spot	29.18	29.48	30.37	29.91	30.49	+0.58
	EUR/USD	Spot	1.1250	1.1250	1.1175	1.1192	1.1214	+0.0022
	USD/JPY	Spot	119.93	119.75	119.88	119.92	119.90	-0.02
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	15.40 15.97	15.36 15.90	15.05 15.54	15.21 15.70	14.96 15.36	-0.2473 -0.3402
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	3.410 4.938	2.980 4.591	3.773 5.439	3.511 4.835	3.156 4.181	-0.355 -0.654
株式	Bovespa指數	43,956.63	44,131.82	45,059.34	45,313.27	47,033.46	+1,720.19	
CDS	CDS Brazil 5y	539.40	530.00	475.82	463.40	436.17	-27.23	
商品	CRB指数	192.804	193.575	193.765	192.510	194.106	+1.595	

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは4.0000で寄り付いた。格付け会社フィッチからブラジル国債格下げの可能性は50%を上回ると発表されたことを受けてブラジル国債のCDSは5%台半ばまで上昇し、リーマンショックの時の水準に近づいた。レアルは下落し週間安値となる4.1520をつけた。しかし、伯中銀が1億ドルの新規スワップ入札を行ったことや、米国の消費者信頼感指数が予想に反して大幅に改善したことからリスクオンムードになると、レアルは反発し4.01台を回復した。
- 中銀によるアナリスト予想集計では2015年のGDP成長率予想が-2.7%から-2.8%へ11週間連続、2016年が-0.8%から-1.0%へ8週連続の下方修正となった。インフレ率予想は2015年が9.34%から9.46%へ2週連続の引き上げ、2016年が5.70%から5.87%への8週連続の引き上げとなった。
- 週央からはルセフ大統領の支持率が14%まで回復したことやブラジルの政府関係者から必要に応じて追加利上げを検討するとアナウンスがあったことを受けてレアルは底堅く推移した。中国当局の消費者に対する減税措置や米国で暫定予算案が議会を通過し、政府閉鎖が回避されたことなどを受けて、マーケットは総じてリスクオンムードとなった。この中でレアルは週間高値となる3.9240を示現した。その後は米国の雇用統計を控えてポジション調整で相場が反転し、レアルは4.02近辺まで反落した。
- 週末にかけては、米9月雇用統計において非農業部門雇用者数が予想を大幅に下回り、前月分も下方修正された。リスク資産売りの動きでレアルは4.04台後半まで下落したが、その後はドル売りに押されてレアルは反発した。更にブラジル政府が省庁のリストラを行い、内閣を刷新して議会の支持を強めると発表したことから、レアルは3.92台後半まで上昇し、3.9330で越過した。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



出所:Bloomberg

## ブラジル国債CDSが急落

格下げ懸念からリーマンショック後の最高値を更新し続けていたブラジル国債のCDS(クレジットデフォルトスワップ)は政府のリストラ発表されて以降、急速に反転している。政府によれば、10の省庁の削減を検討し、存続する省庁の職員給与を10%削減する計画。また、内閣を刷新し、議会の支持を高め予算支援を得るとのこと。これを受けた結果、レアルは3.92台まで上昇し、ボベスパ指数は月曜日に年初来安値をつけた後に4日続伸。2週間ぶりの水準を回復している。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.80—4.10

政府のリストラ計画の発表を受けて格下げ懸念が後退し、今週のレアルが堅調に推移した。しかし、リストラの実行に当たってはかなりの反対運動が起こることも想定され、実現可能性についてあまり楽観視すべきではないと考えられる。先週の為替介入プログラム復活を受けてレアルが下がった所では介入警戒感が出てくると予想されるが、中銀の行動を見るに明確な防衛ラインは設定されておらず、従前通りの急激な相場変動を回避するためのスムージングオペレーションを行っているように見える。為替介入によりレアル安が押さえ込まれると判断するのはまだ早いと思われる。政府のリストラが進むことに期待が集まるが、頓挫するようなら再びレアル安方向に戻るリスクに注意したい。

一方で米国サイドでは弱い経済指標が少しずつ目立ち始めている。特に本日は9月の雇用統計が発表され、非農業部門雇用者数が前月の142千人増加に留まった。予想では200千人以上を見込む声が多かったため、ドルは対主要通貨に対して急落した。前月分も173千人から136千人に下方修正されている。FRB理事会からは年内利上げを強調するコメントが連発されているが、これらの弱い経済指標を受けて利上げ期待は大きく後退している。利上げ期待の剥落を受けて、来週は一旦はドル売り方向の調整が入ると予想する。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	Fipe消費者物価指数(月次)	0.61%	0.66%	0.56%
ブラジル	鉱工業生産(前月比)	-1.6%	-1.2%	-1.5%
ブラジル	鉱工業生産(前年比)	-9.5%	-9.0%	-9.0%
ブラジル	CNI Consumer Confidence	--	96.3	98.9
米	非農業部門雇用者数変化	201K	142K	136k
米	失業率	5.1%	5.1%	5.1%
米	労働参加率	--	62.4%	62.6%
米	製造業受注指数	-1.2%	-1.7%	0.2%

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/5	マーキット・ブ'ラジ'ルPMIコンポジット	Sep	--	44.8
ブラジル	10/5	マーキット・ブ'ラジ'ルPMIサービス業	Sep	--	44.8
ブラジル	10/5	貿易収支(週次)	Oct-04	--	\$271M
米	10/5	ISM非製造業景況指数(総合)	Sep	57.5	59.0
ブラジル	10/6	自動車生産台数(自工会)	Sep	--	216465
米	10/6	貿易収支	Aug	-\$47.10b	-\$41.86b
ブラジル	10/7	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Sep	1.23%	0.40%
ブラジル	10/7	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Sep	9.48%	9.53%
ブラジル	10/7	商品価格指数(前年比)	Sep	--	22.7%
米	10/7	MBA住宅ローン申請指數	Oct-02	--	-6.7%
ブラジル	10/8	FGV CPI IPC-S	Oct-07	0.50%	0.42%
米	10/8	新規失業保険申請件数	Oct-03	274k	277k
ブラジル	10/9	FIPE CPI-週次	Oct-07	0.68%	0.57%
ブラジル	10/9	IGP-M Inflation 1st Preview	Oct	0.98%	0.56%
米	10/9	卸売在庫(前月比)	Aug	0.0%	-0.1%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。